

平成 27 年度 第 1 回コンクリート委員会・第 3 回コンクリート常任委員会 議事録（案）

日時：2015 年 9 月 15 日（火）14:00～17:00

場所：メルパルク岡山 泰平 I

出席者：前川委員長，石田幹事長，石橋，魚本，阪田，丸山の各顧問，岩城，梅村，遠藤，岡本，春日，木村，須田，手塚，原田（代理 伊藤），松田，三島，六郷，渡辺（忠），渡邊（弘）の各委員，井上，上田，内田，梅原，岸，佐伯，坂田，佐藤（靖），島，下村，添田，田中，谷村，土谷，中村，二羽，橋本，濱田，松田（代理 竹田），松村，丸屋，宮川，睦好，森，森川，横田の各常任委員，岩波，小林，斉藤，名倉，久田の各常任委員兼幹事，浅本，高橋，細田，牧，吉田の各オブザーバ，二瓶（事務局）

配付資料：

- 3-0 平成 27 年度第 1 回コンクリート委員会・第 3 回コンクリート常任委員会 議事次第
- 3-1 平成 27 年度第 2 回コンクリート常任委員会 議事録（案）
- 3-2 第 1 種，第 2 種委員会活動報告
- 3-3 第 3 種委員会活動報告
- 3-4 第 1 種委員会「コンクリート委員会」平成 27 年度 委員構成案（変更）
- 3-5 第 1 種委員会「規準関連小委員会」平成 27 年度 委員構成案（変更）
- 3-6 第 2 種委員会「生産性および品質の向上のためのコンクリート設計・施工研究小委員会」委員構成案（新規）
- 3-7 第 3 種委員会設立申請書「コンクリートの性能に及ぼす高温作用の影響評価研究小委員会」（新規）
- 3-8 第 3 種委員会設立申請書「混和材料を使用したコンクリートの性能評価技術と性能規定型材料設計に関する研究小委員会」（新規）
- 3-9 第 3 種委員会設立申請書「繊維補強コンクリートの構造利用研究小委員会（第 2 期）」（継続）
- 3-10 平成 27 年度全国大会に伴う研究討論会・企画（コンクリート委員会）
- 3-11 平成 27 年度コンクリート委員会 予算執行状況
- 3-12 第 3 種委員会「セメント系構築物と周辺地盤の化学的相互作用研究小委員会」委員構成案（変更）
- 3-13-1 第 3 種委員会「コンクリート構造物の品質確保小委員会」委員構成案（変更）
- 3-13-2 第 3 種委員会「コンクリート構造物の品質確保小委員会」主要活動履歴
- 3-14 「鉄筋コンクリート構造の疲労破壊に関するシンポジウム」の案内
- 3-15 「材料劣化が生じるコンクリート構造物の維持管理優先度研究小委員会」および「塩害環境の定量評価に関する研究小委員会」成果報告会開催の案内

議事：

1. 委員長挨拶

前川委員長より，下記の挨拶がなされた。

- ・4 月から委員長を二羽先生から引き継いだ。
- ・コンクリート委員会は総勢 70 名を超える規模で，昨年 100 周年を迎えた土木学会においてもっとも古い委員会である。昭和 4 年からコンクリート標準示方書の制定・改訂を継続的に行っている。また，出版物や行事参加者数も多く，収益は土木学会の 85%を担っており，これにはコンクリート標準示方書の改訂・出版が大きく寄与している。
- ・先日，大先輩の仁杉さんから「コンクリート標準示方書改訂はやっているか」と言われた。次回の改訂は宮川委員に改訂小委員会の委員長をお願いし，その活動も活発になってきている。
- ・本日は，コンクリート委員会・コンクリート常任委員会合同の委員会である。懇親会も含めて活発な意見交換をしてほしい。

2. 平成 27 年度 第 2 回コンクリート常任委員会議事録 の確認【資料 2-1】

久田幹事より，議事録案の内容が紹介され，下記の修正を確認し，これを了承した。

- ・宮川委員から指摘があり，「2. 示方書連絡調整委員会の活動状況」は「2. 示方書連絡調整小委員会の活動状況」に修正する。

審議事項：

1. 第 1 種，2 種委員会の活動報告【資料 3-2】

前川委員長より、第1種・第2種・第3種委員会の枠割や位置付けなどが説明された後、2014年9月から2015年8月までの第1種委員会および第2種委員会の活動報告がなされ、いずれも了承された。

(1)第1種委員会

- ・前川委員長より、コンクリート標準示方書改訂小委員会に関連して、阪田顧問から各編の連係と横差しを意識した内容にしてほしいとの要望があったことが紹介された。また、委員には示方書のドラフトに対する意見をいただきたいとのお願いがあった。
- ・宮川小委員会委員長より、今回は基本原則編とダム編は改訂しないこと、2018年3月に設計編と施工編を発行、同9月に維持管理編を発行すること、電子化を検討すること、などの補足説明がなされた。
- ・阪田顧問より、最新技術を反映した内容とすること、維持管理をするためには設計や施工が重要で、これらが連係すること、の要望が出された。また、読みやすさも検討してほしいとの発言があった。
- ・規準関連小委員会について、規準編の改訂に向けた活動が始まったことが紹介された。

(2)第2種委員会

- ・示方書連絡調整小委員会について、中堅・若手に次世代の示方書のあり方を検討してもらい、その成果は技術シリーズで発刊されたことが紹介された。
- ・汚染水貯蔵用PCタンク検討小委員会では、福島原発で発生している汚染水の貯蔵用PCタンクの実現可能性についてコンクリート委員会として方向性を示したいと説明があった。

2. 第3種委員会の活動報告【資料3-3】

石田幹事長より、2014年9月から2015年8月までの第3種委員会（8つの小委員会）の活動報告がなされ、了承された。

- ・前川委員長より、第3種委員会は有志の自発的な活動を支援するシステムで、自由な活動を阻害しないものであるため、委員の皆様から研究テーマのご提案をいただくとよいと補足説明があった。また、成果品は幹事会などで目を通すが、内容に関する責任は委員にある。しかし、社会からは土木学会としての責任を問われる可能性もあるので注意してほしいとの喚起がなされた。

3. 第1種・第2種委員会の委員構成、委員追加・交代

前川委員長より、以下の(1)～(3)の説明がなされ、いずれの委員会も委員構成の了承を得た。

(1) 第1種委員会「コンクリート委員会」の委員交代【資料3-4】

- ・全生連：伊藤康司委員→原田修輔委員に交代

(2) 第1種委員会「規準関連小委員会」委員交代【資料3-5】

- ・全生連：辻本一志委員→内田美生委員に交代
- ・JR西日本：野村倫一委員→渡辺佳彦委員に交代

(3) 第2種委員会「生産性および品質の向上のためのコンクリート設計・施工研究小委員会」委員構成【資料3-6】

- ・前川委員長より、国の国土強靱化政策の中で、国交省や日建連では生産性向上が大きなテーマになっている。設計と施工の一連の流れのギャップを埋めることで、建設産業の発展に貢献したいと発言があった。
- ・石橋小委員会委員長より、成果を発注者の仕様書などに反映させる必要があるため、それに携わる発注者の方々に委員に入ってもらい議論を深めたいとの発言があった。

4. 第3種委員会の新設・継続申請

それぞれの小委員会の委員長候補者から新設・継続の説明がなされ、いずれも小委員会設置の了承を得た。

(1) コンクリートの性能に及ぼす高温作用の影響評価研究小委員会（浅本委員長）【資料3-7】

- ・宮川委員より、DEFは日本で発生してないのはなぜか、セメント成分など世界的な視野で研究を進めてほしいとの要望があった。

(2) 混和材料を使用したコンクリートの性能評価技術と性能規定型材料設計に関する研究小委員会（梅村委員長）【資料3-8】

(3) 繊維補強コンクリートの構造利用研究小委員会（第2期）（内田委員長）【資料3-9】

5. 平成28年度出版計画

石田幹事長より、今後の出版計画が以下のとおり説明され、了承された。これ以外にあれば幹事まで連絡してもらおう（土木学会への提出期限：9/30）。

- ・平成 27 年度は、「施工性能にもとづくコンクリートの配合設計・施工指針」、「フェロニッケルスラグ骨材を用いたコンクリートの設計・施工指針」、「銅スラグ骨材を用いたコンクリートの設計・施工指針」を出版する。
- ・平成 28 年度は、「汚染水貯蔵用 P C タンク検討小委員会」、「生産性および品質の向上のためのコンクリート設計・施工研究小委員会」の成果を出版する。

6. その他

(1) 示方書の電子化について

- ・規準関連小委員会の久田委員長より、規準編の改訂に伴い、新規準制定のニーズの調査を目的として、他の編（特に、設計編、施工編）における試験や検査等に関する記述をピックアップする作業の効率化をはかるため、現行示方書の電子媒体（p d f など）を小委員会委員に配布することについて提案がなされた。
- ・魚本顧問より、情報セキュリティ管理が難しく、販売に影響する可能性もあるので、土木学会出版部門の承認が必要ではないかとの発言があった。
- ・示方書改訂小委員会の宮川委員長より、示方書を有効活用するには出版形態を電子化して、それを上手く活用することが将来的には必須ではないかとの意見があった。
- ・出版担当の斉藤幹事より、出版委員会では、構造工学委員会からの出版物を対象に電子化を丸善と検討しているが、電子書籍専用のフォーマットでは数式を扱うことが難しく、また p d f ではセキュリティの問題をクリアする必要があるため、出版委員会で継続して検討中との説明があった。
- ・以上を受け、規準関連小委員会における示方書の電子媒体の利用については、詳細検討後に改めて提案することとなった。

報告事項：

1. 平成 27 年度全国大会における研究討論会【資料 3-10】

岩波幹事より、研究討論会テーマ「2020 年以降も社会に貢献し続ける次世代型コンクリート工学を目指して」についての説明とともに参加の要請がなされた。

2. 平成 27 年度コンクリート委員会予算執行【資料 3-11】

石田幹事長より、資料の説明がなされた。

3. 第 3 種委員会の委員構成

久田幹事より、以下の資料の説明がなされた。それぞれの小委員会の幹事長、副委員長から補足説明がなされた

- (1) 「セメント系構築物と周辺地盤の化学的相互作用研究小委員会」委員構成案【資料 3-12】
- (2) 「コンクリート構築物の品質確保小委員会」委員構成案（追加、退会）【資料 3-13-1,3-13-2】

4. 報告会・講習会開催予定【資料 3-14,15】

久田幹事より、以下の資料の説明がなされた。それぞれの小委員会の委員長から補足説明と参加のお願いがなされた。

- (1) 鉄筋コンクリート構造の疲労破壊研究小委員会（347 委員会、岩城委員長）成果報告会（2015 年 9 月 25 日、東京）
- (2) 材料劣化が生じるコンクリート構造物の維持管理優先度研究小委員会（342 委員会、宮里委員長）および塩害環境の定量評価に関する研究小委員会（348 委員会、佐伯委員長）成果報告会（合同）（2015 年 11 月 30 日、東京）

5. 報告会・講習会開催報告

久田幹事より、以下の説明がなされた。

- (1) コンクリート構造物の安全確保のためのシステムに関する研究小委員会（225 委員会、鎌田委員長）・成果報告会（2015 年 9 月 9 日、東京、58 名）
- (2) 繊維補強コンクリートの構造利用研究小委員会（346 委員会、内田委員長）・成果報告会（2015 年 8 月 24 日、東京、87 名）

6. その他

(1) 国際関連小委員会の活動報告

中村小委員会委員長より、丸山顧問、横田委員にも講演していただき、50名程度の参加を得て土木学会とフィリピン土木学会とのジョイントセミナーが8/26に開催され、コンクリート構造物の維持管理について意見交換を行ったとの報告がなされた。

次回開催日：

第4回コンクリート常任委員会

- ・2015年11月18日（水）14時～17時，土木学会 AB 会議室
- ・議題は11月11日（水）までに幹事へ

話題提供：

- (1) 「コンクリート橋の維持管理と技術開発」（木村委員）
- (2) 「低炭素とコンクリート」（丸屋委員）

以上